

2026年4月30日

貴志川線の運賃改定（申請）について

和歌山電鐵株式会社

和歌山電鐵株式会社（本社：和歌山市伊太祈曽 73 番地、代表取締役社長：小嶋 光信）は、本日 4 月 30 日付にて近畿運輸局長に対し、鉄道事業の旅客運賃上限変更認可申請書を提出いたしました。

ご利用のお客様にはご負担をおかけすることとなり、誠に心苦しい限りではございますが、何卒ご理解を賜りますようお願いいたします。

申請理由及び申請概要は下記のとおりです。

記

1. 申請の理由

当社は、廃線の危機にあった貴志川線を 2006 年に引き継いで以降、地域の皆さまからの熱い支援とともに、多くの話題づくりや個性的な車両の導入、多能工化による少人数での運営などの経営努力を重ね、路線の維持に努めてまいりました。

2016 年に上限旅客運賃の変更認可を受けて以降も、こうした収支改善に向けた取り組みを継続するとともに、県および沿線の和歌山市、紀の川市からは老朽化が進む鉄道施設の更新に対して、また 2021 年度からは修繕費に対するご支援をいただき、安全輸送の確保に努めております。

しかしながら、コロナ禍により激減した通勤・通学需要の回復は極めて限定的となっており、少子高齢化も大きく影響して、以前の水準には至っておりません。加えて、安全運行維持のための資材や労務費、電力料金、人材確保のための待遇改善に伴う人件費、度重なる水害や落雷等の災害復旧費用などのコストは増大しており、近年の鉄道事業収支は年間 2 億円を超える営業赤字が続いています。

今後も、さらなる人口減少や少子高齢化の進行、施設・車両の老朽化対策や物価上昇に伴う費用の増大により、大変厳しい経営環境が続くものと予想されます。

これらを鑑み、安全・安心な輸送サービスを維持し、地域の皆さまの足としての役割を果たしていくため、同様の経営環境にある他地域の運賃水準も参考に、上限旅客運賃の変更認可を申請するものです。

なお、本改定によって直ちに黒字化が実現するものではありませんが、当社の経営努力と自治体の支援もあわせて一定の収支改善を図り、持続可能な形での貴志川線の永続を目指してまいります。

2. 申請の概要

(1) 上限運賃認可制度について

鉄道事業の旅客運賃は、各事業者の「上限運賃」を国土交通省が認可する「上限認可制」

となっております。各事業者は認可された上限運賃の範囲内で、届出により「実施運賃」(お客様から実際に収受する運賃)を設定することができます。

今回は、「上限運賃」とは別に「実施運賃」を設定する予定であり、詳細は国土交通省の認可後に改めてお知らせいたしますが、以下には「実施運賃」の予定額もご参考までに記載しております。

(2) 申請日

2026年4月30日

(3) 改定予定日

2026年7月1日

(4) 改定率

	普通旅客運賃 (大人)	定期運賃	
		通勤	通学
申請上限運賃	27.4%	37.1%	26.8%
実施運賃(予定)	16.1%	25.4%	15.9%

(5) 申請した上限運賃及び実施運賃(予定)

①普通旅客運賃(大人) (単位:円)

営業キロ (km)	現行運賃	申請 上限運賃	実施運賃 (予定)
1~3	190	240	220
4~6	250	320	290
7~9	320	410	370
10~12	370	470	430
13~15	410	520	480

②通勤定期旅客運賃〔大人・1か月〕 (単位:円)

営業キロ (km)	現行運賃	申請 上限運賃	実施運賃 (予定)
1~3	7,000	9,360	8,580
4~6	9,210	12,480	11,310
7~9	11,420	15,990	14,430
10~12	13,250	18,330	16,770
13~15	14,730	20,280	18,720

③通学定期旅客運賃〔大人・1か月〕（単位：円）

営業キロ (km)	現行運賃	申請 上限運賃	実施運賃 (予定)
1～3	4,190	5,180	4,750
4～6	5,500	6,910	6,260
7～9	6,820	8,860	7,990
10～12	7,920	10,150	9,290
13～15	8,800	11,230	10,370

(6) 定期運賃平均割引率

通勤 35.0% (現行 39.7%)

通学 64.0% (現行 63.8%)

3. 鉄道部門の収支率（収入/支出（配当所要額を含む））の実績及び推定

	2024年度 (実績)	2026～2028年度 (3年間平均)	
		現行	申請
申請上限運賃	55.4%	53.8%	67.5%
実施運賃（予定）			62.3%

4. 設備投資の主な実績及び計画

輸送の安全・安心をお客様に提供するため、老朽化した鉄道施設・車両の更新を中心に、災害対策も含め、保安度の向上に向け優先度を見極めながら順次行っております。

主な内容は以下のとおりです。

○線路設備

道床の砕石化、まくら木のコンクリート化、レールの更新、土留擁壁の改良、橋梁の重防食塗装、分岐器の更新等

○電路設備

支持物のコンクリート化、踏切しゃ断機・踏切軌道回路・変成機器・き電線・配電線・ATS 地上装置の更新、自動張力調整装置の新設等

○車両

集電装置の改良、ATS 車上装置の更新

5. これまでの経営合理化の状況及び今後の取り組み

当社はこれまで、社員の多能工化による縦割りの排除と少人数での運営、各種契約の見直し、業務の効率化等による経費削減に継続して取り組んでまいりました。

あわせて、特色ある車両や猫の駅長などによる観光需要の創出により、収入の確保にも努めております。

今後につきましても、設備の計画的な更新を進めて修繕費の抑制を図るとともに、関係自治体との連携のもと上下分離方式の導入を見据えた持続可能な事業運営の確立に取り組んでまいります。

6. 運賃の多様化の内容

お客様の利用促進や利便性向上のため、主に以下のような企画乗車券を発売しています。

- 1日乗車券
- 増量回数券
- 通学1年スマホ定期券
- 70おでかけ回数券

7. お客様サービスの向上策

以下の施策を計画、検討してまいります。

- 通学1年スマホ定期券の割引率の引上げ
- 鉄道施設・車両の更新による安全・安心な輸送の提供
- キャッシュレス決済（交通系ICカード）の導入

8. 運賃・料金に関する問合せ先

和歌山電鐵株式会社

ホームページ：<https://wakayama-dentetsu.co.jp/>

電話：073-478-0110

以上

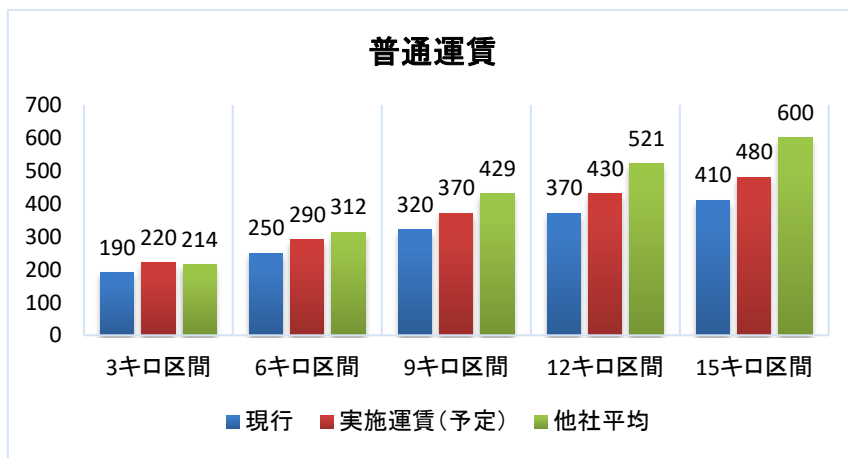
【参考資料】他社線との運賃比較

貴志川線と立地条件が比較的近い他の地方鉄道 18 路線（注 1）との比較（令和 8 年 4 月当社調べ）

		貴志川線		他社平均
		現行	実施運賃 (予定)	
普通運賃	3 キロ区間	190	220	214
	6 キロ区間	250	290	312
	9 キロ区間	320	370	429
	12 キロ区間	370	430	521
	15 キロ区間	410	480	600
定期運賃 割引率（注 2）	通勤	39.7%	35.0%	36.0%
	通学	63.8%	64.0%	56.8%

（注 1）県庁所在地・中核市等の主要都市から郊外へ延びる各路線（東北 2、関東 3、中部 7、近畿 1、中国 2、四国 2、九州 1）

（注 2）10 キロ区間における割引率



定期運賃の割引率(高いほうが安価)

